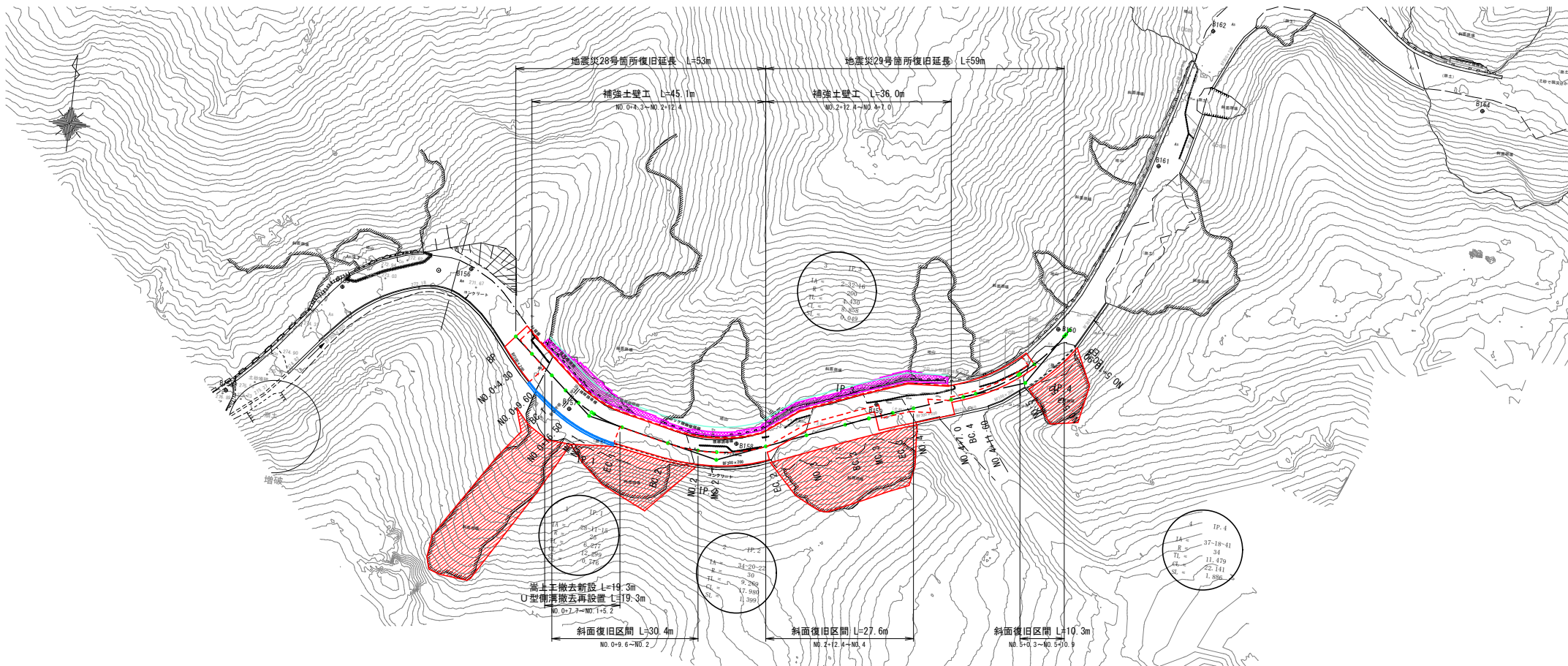


全体平面図

28号～29号箇所

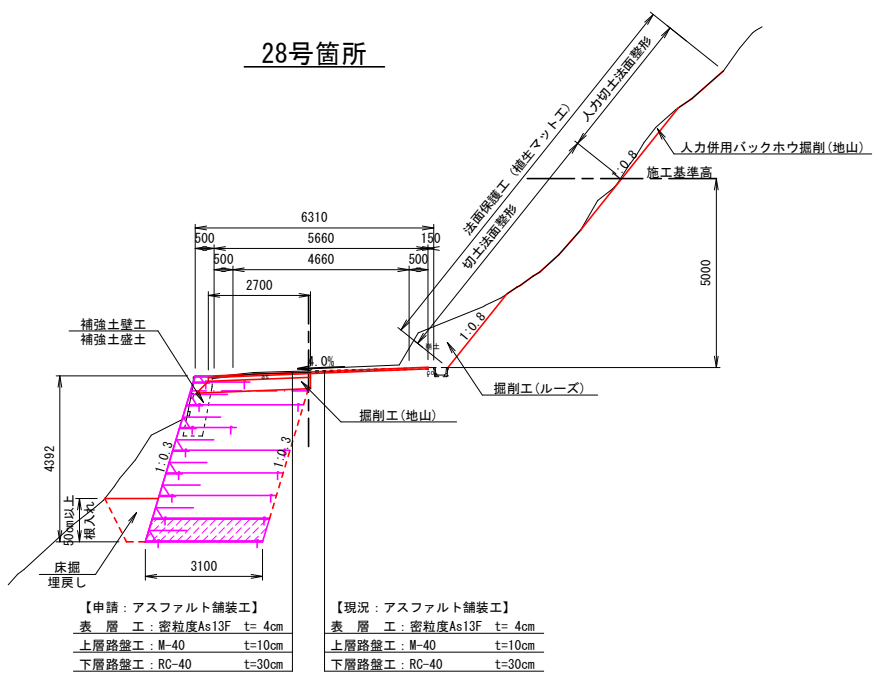
S=1:500



標準断面図

S=1:100

28号箇所

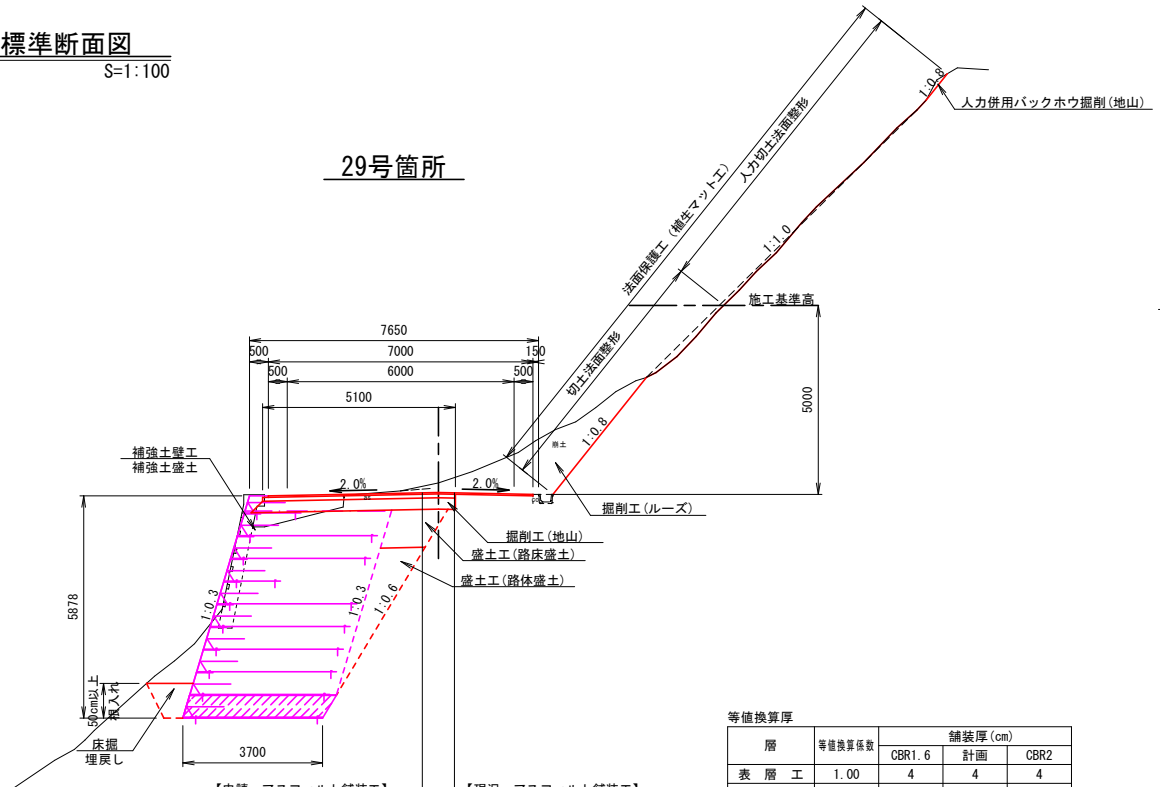


【申請：アスファルト舗装工】			
表層工	密粒度As13F	t=4cm	
上層路盤工	M-40	t=10cm	
下層路盤工	RC-40	t=30cm	

【現況：アスファルト舗装工】			
表層工	密粒度As13F	t=4cm	
上層路盤工	M-40	t=10cm	
下層路盤工	RC-40	t=30cm	

※施工時には現地CBR1.6%以上を確認すること

29号箇所



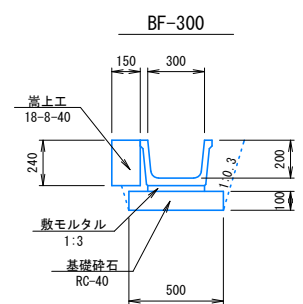
【申請：アスファルト舗装工】			
表層工	密粒度As13F	t=4cm	
上層路盤工	M-40	t=10cm	
下層路盤工	RC-40	t=30cm	

【現況：アスファルト舗装工】			
表層工	密粒度As13F	t=4cm	
上層路盤工	M-40	t=10cm	
下層路盤工	RC-40	t=30cm	

※施工時には現地CBR1.6%以上を確認すること

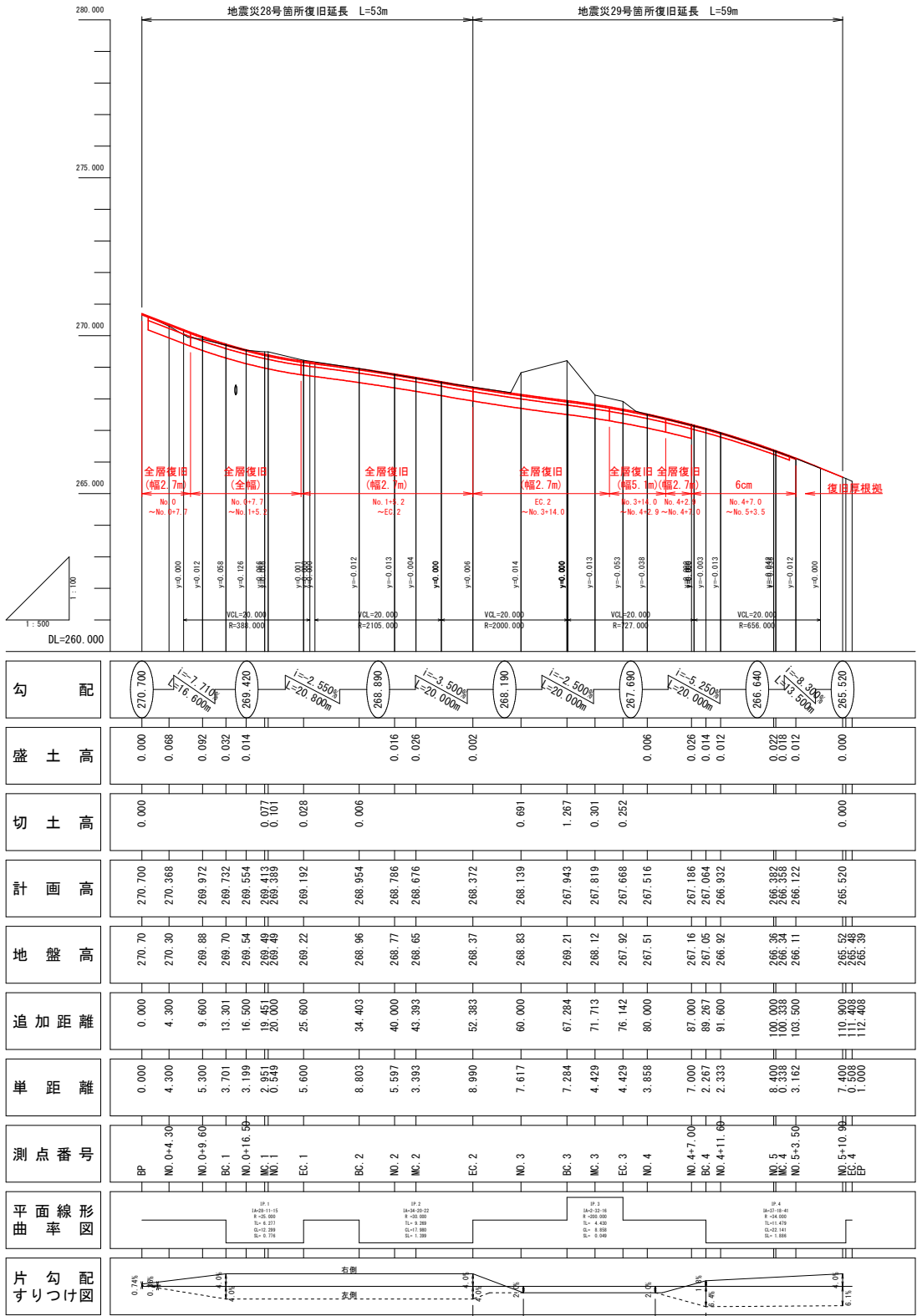
U型側溝

S=1:20



路線名	林道サビヤ山線	事業名	林道施設災害(令和6年災)復旧	事業	
林道区分	奥地	級別区分	自動車道1級	設計速度	
年度	令和6年度	施行主体	輪島市		
名称	全体平面図(28号～29号箇所) 1葉中 1番				
施行地	石川県輪島市門町浦上	地内			
縮尺	1:500	図面番号	1/14	審査者	設計者

縦断図(1/1)



※注【28号箇所】
・No. 0～No. 0+7.7間は床掘影響範囲（幅2.7m）を全層復旧とした。
・No. 0+7.7～No. 1+5.2間は床掘影響範囲（全幅）を全層復旧とした。
・No. 1+5.2～EC.2間は床掘影響範囲（幅2.7m）を全層復旧とした。

※注【29号箇所】
・EC.2～No. 3+14.0間を床掘影響範囲（幅2.7m）を全層復旧とした。
・No. 3+14.0～No. 4+2.9間を床掘影響範囲（5.1m）を全層復旧とした。
・No. 4+2.9～No. 4+7.0間を床掘影響範囲（幅2.7m）を全層復旧とした。
・No. 4+7.0～No. 5+3.5間はクラック深6cmを復旧厚設定根拠とした。

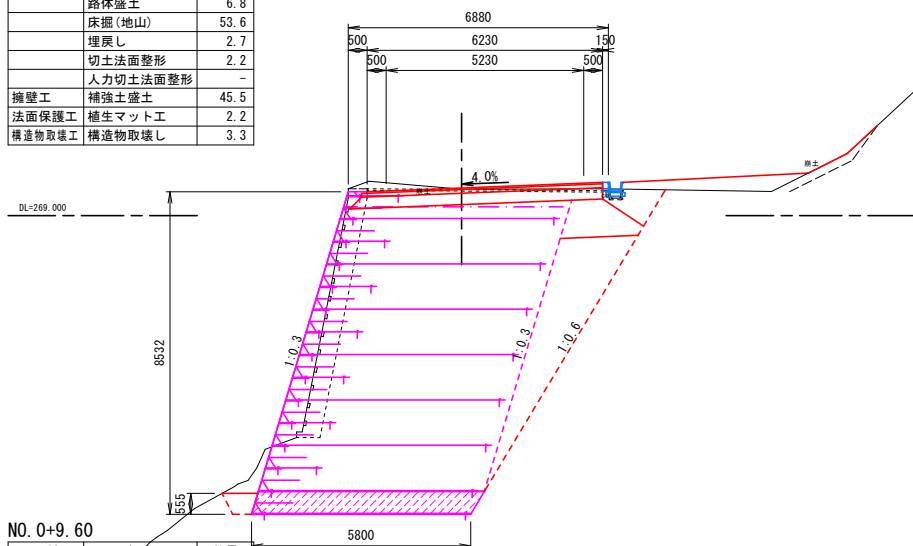
28～29号箇所					
路線名	林道 サビヤ山線	事業名	林道施設災害 (令和6年災)復旧 事業		
林道区分	奥地	級別区分	自動車道 1級	設計速度	20km/h
年度	令和7年度		施行主体	輪島市	
名称	縦断図 1葉中 1番				
施行地	石川県輪島市門前町浦上 地内				
縮尺	図面	2	審査者	設計者	
図示	番号	14			

BC. 1

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	0.4
	掘削工(地山)	2.1
	人力専用バックホウ掘削(地山)	-
	路床盛土	1.6
	路体盛土	6.8
	床掘(地山)	53.6
	埋戻し	2.7
	切土法面整形	2.2
	人力切土法面整形	-
擁壁工	補強土盛土	45.5
法面保護工	植生マット工	2.2
構造物取壊工	構造物取壊し	3.3

BC. 1

GH=269.70
DL=269.722

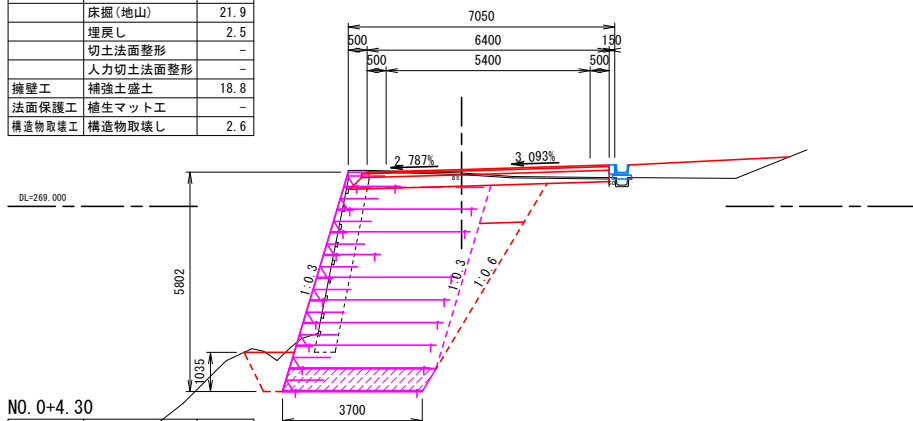


NO. 0+9.60

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	-
	掘削工(地山)	1.6
	人力専用バックホウ掘削(地山)	-
	路床盛土	1.3
	路体盛土	2.2
	床掘(地山)	21.9
	埋戻し	2.5
	切土法面整形	-
	人力切土法面整形	-
擁壁工	補強土盛土	18.8
法面保護工	植生マット工	-
構造物取壊工	構造物取壊し	2.6

NO. 0+9.60

GH=269.88
FH=269.972

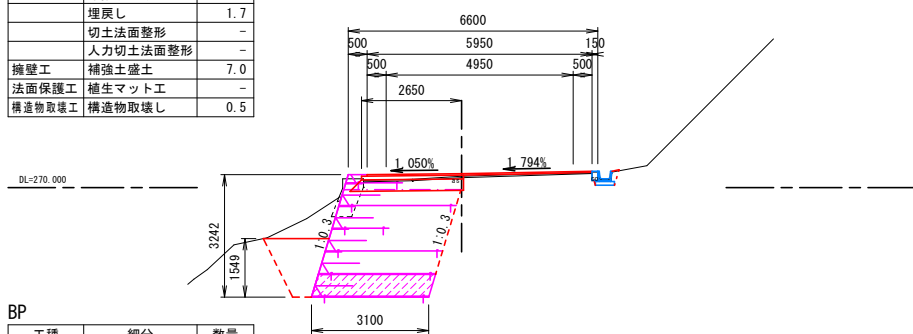


NO. 0+4.30

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	-
	掘削工(地山)	0.7
	人力専用バックホウ掘削(地山)	-
	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	11.0
	埋戻し	1.7
	切土法面整形	-
	人力切土法面整形	-
擁壁工	補強土盛土	7.0
法面保護工	植生マット工	-
構造物取壊工	構造物取壊し	0.5

NO. 0+4.30

GH=270.30
FH=270.368

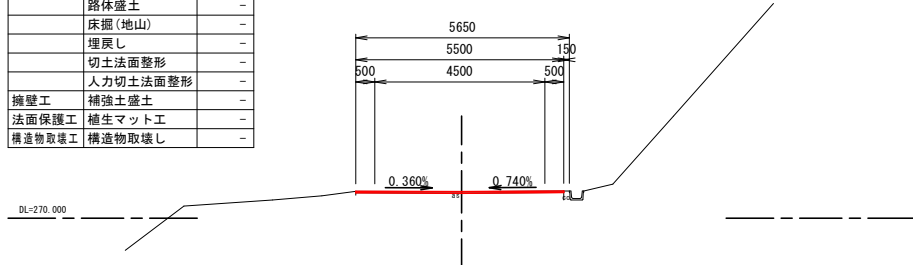


BP

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	-
	掘削工(地山)	-
	人力専用バックホウ掘削(地山)	-
	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	-
	埋戻し	-
	切土法面整形	-
	人力切土法面整形	-
擁壁工	補強土盛土	-
法面保護工	植生マット工	-
構造物取壊工	構造物取壊し	-

BP

GH=270.70
FH=270.700

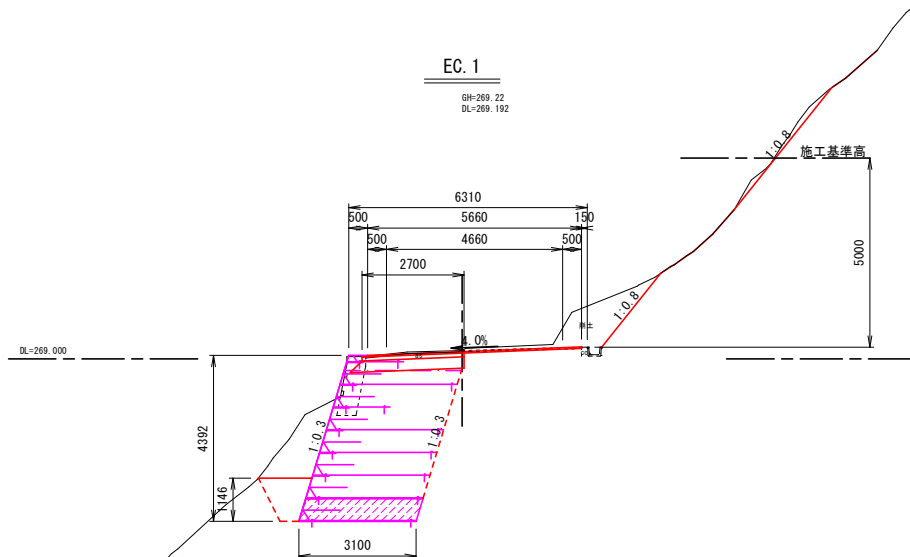


横断図(1/2)

S=1:100

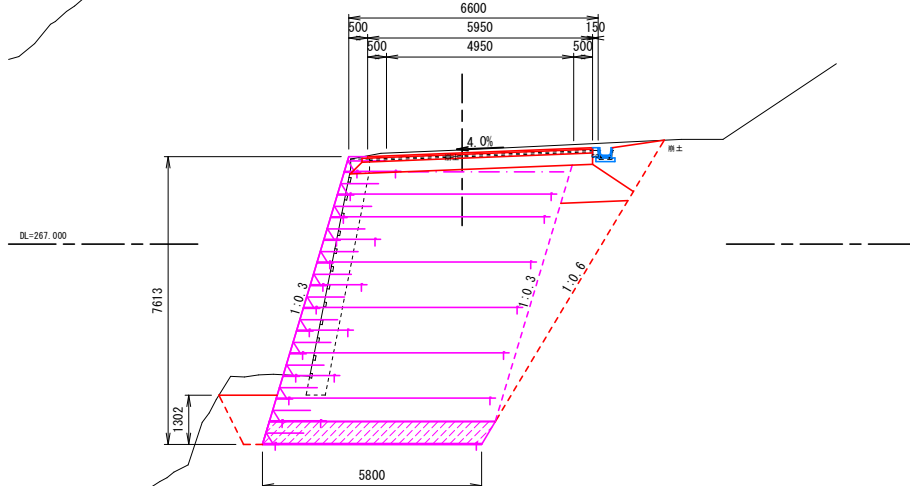
EC. 1

GH=269.22
DL=269.192



MC. 1

GH=269.49
DL=269.413
6600

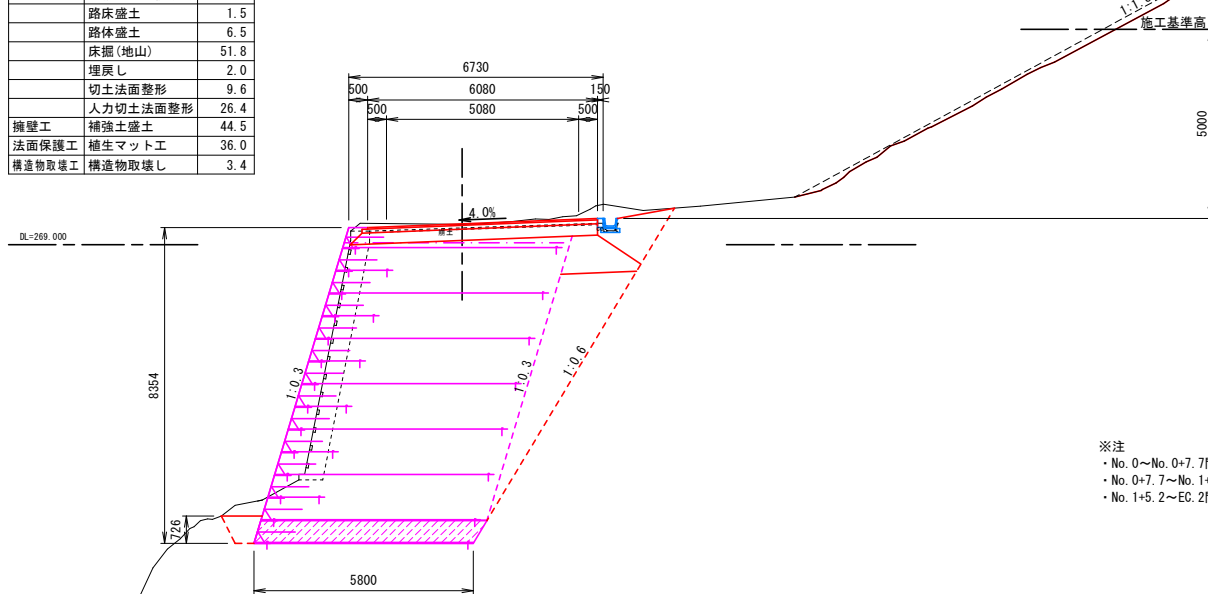


NO. 0+16.50

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	1.5
	掘削工(地山)	1.7
	人力専用バックホウ掘削(地山)	-
	路床盛土	1.5
	路体盛土	6.5
	床掘(地山)	51.8
	埋戻し	2.0
	切土法面整形	9.6
	人力切土法面整形	26.4
擁壁工	補強土盛土	44.5
法面保護工	植生マット工	36.0
構造物取壊工	構造物取壊し	3.4

NO. 0+16.50

GH=269.54
DL=269.554



EC. 1

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	2.3
	掘削工(地山)	1.2
	人力専用バックホウ掘削(地山)	0.2
	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	14.7
	埋戻し	1.1
	切土法面整形	6.8
	人力切土法面整形	3.9
擁壁工	補強土盛土	10.7
法面保護工	植生マット工	10.7
構造物取壊工	構造物取壊し	0.8

MC. 1

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	1.1
	掘削工(地山)	2.0
	人力専用バックホウ掘削(地山)	-
	路床盛土	1.3
	路体盛土	5.1
	床掘(地山)	47.9
	埋戻し	2.5
	切土法面整形	-
	人力切土法面整形	-
擁壁工	補強土盛土	40.0
法面保護工	植生マット工	-
構造物取壊工	構造物取壊し	3.2

※注
・No. 0~No. 0+7.7間は床掘影響範囲(幅2.7m)を全層復旧とした。
・No. 0+7.7~No. 1+5.2間は床掘影響範囲(全幅)を全層復旧とした。
・No. 1+5.2~EC. 2間は床掘影響範囲(幅2.7m)を全層復旧とした。

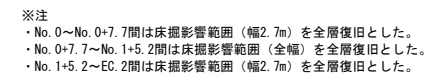
※本図の標高は測地成果2011である。

28号箇所

路線名	林道 サビヤ山線	事業名	林道施設災害 (令和6年災)復旧	事業	自動車道 1線
林道区分	奥地	級別区分	設計速度	20km/h	
年度	令和7年度	施行主体	輪島市		
名称	横断図 2葉中 1番				
施行地	石川県輪島市門前町浦上	地内			
縮尺	1:100	図面番号	3/14	審査者	設計者

S=1 : 100

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	-
	掘削工(地山)	0.8
	人力使用バックホウ掘削(地山)	-
	路床盛土	-
	路床盛土	-
	床掘(地山)	5.3
	埋戻し	0.9
擁壁工	切土法面整形	-
	人力切土法面整形	-
	補強土盛土	3.5
法面保護工	植生マット工	-
構築物取壊工	構築物取壊し	0.7



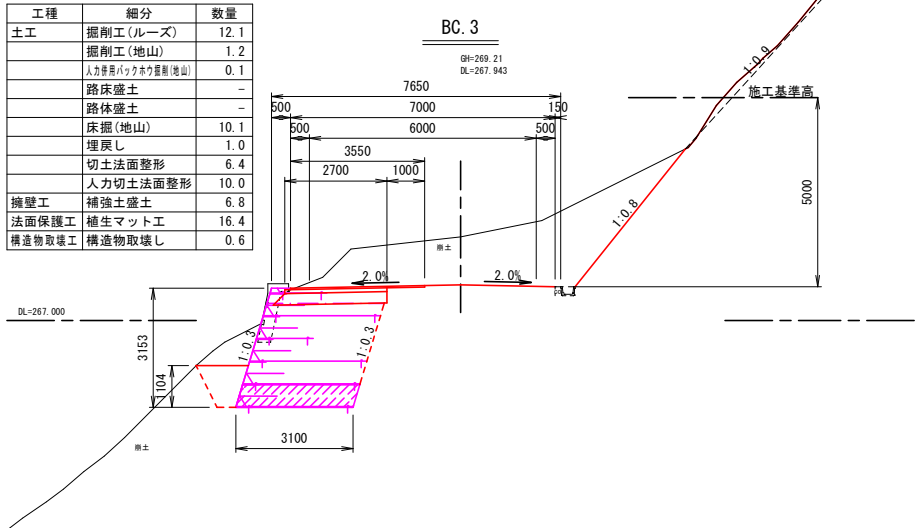
28号箇所						
路線名	林道 サビヤ山線	事業名	林道施設災害 (令和6年災)復旧		事業	
林道区分	奥地	級別区分	自動車道 1級	設計速度	20km/h	
年度	令和7年度		施工主体	輪島市		
名称	横断図			2葉中 2番		
施行地	石川県 輪島市 市前町 浦上 地内					
縮尺	図面	4 / 14	審査者		設計者	
1:100	番号	4 / 14				

横断図(1/2)

S=1:100

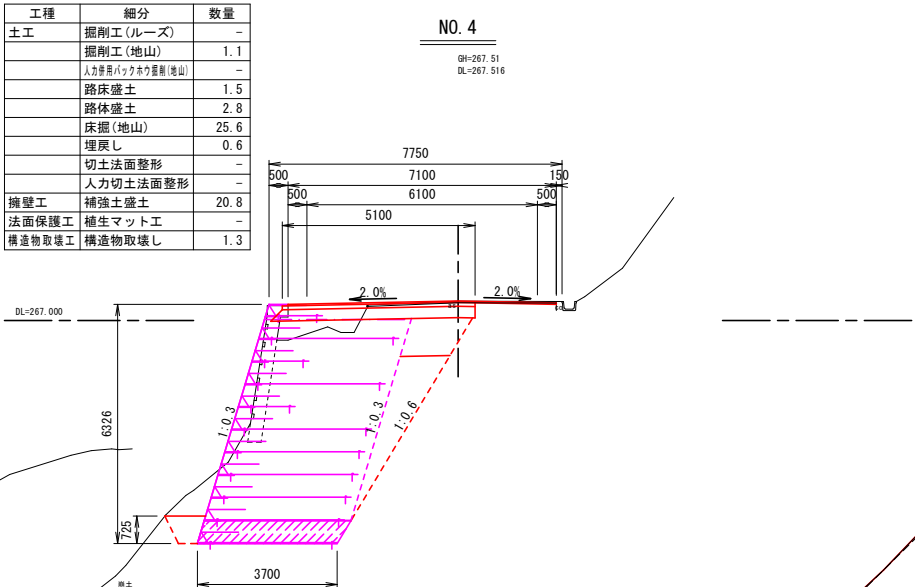
BC. 3

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	12.1
	掘削工(地山)	1.2
	人力専用バックホウ掘削(地山)	0.1
	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	10.1
	埋戻し	1.0
	切土法面整形	6.4
	人力切土法面整形	10.0
擁壁工	補強土盛土	6.8
法面保護工	植生マット工	16.4
構造物取壊工	構造物取壊し	0.6



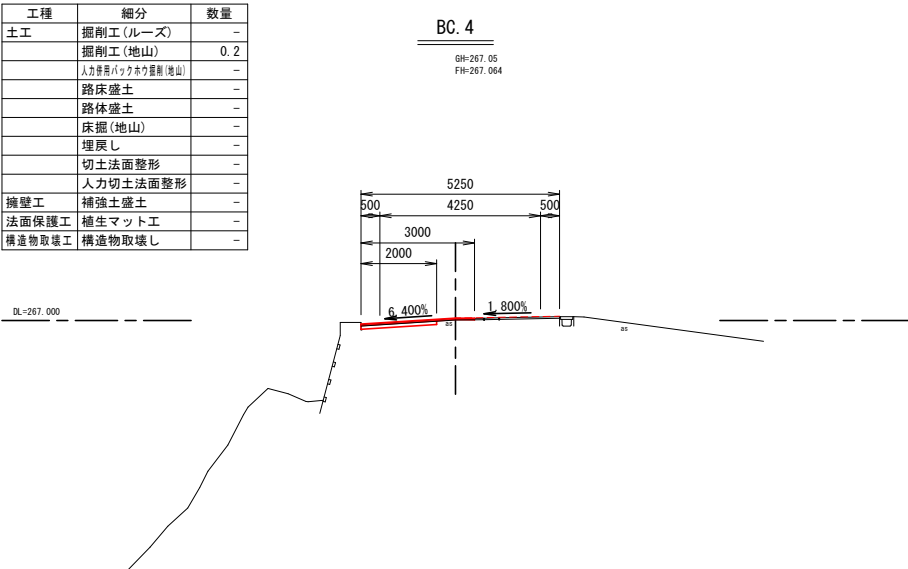
NO. 4

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	-
	掘削工(地山)	1.1
	人力専用バックホウ掘削(地山)	-
	路床盛土	1.5
	路体盛土	2.8
	床掘(地山)	25.6
	埋戻し	0.6
	切土法面整形	-
	人力切土法面整形	-
擁壁工	補強土盛土	20.8
法面保護工	植生マット工	-
構造物取壊工	構造物取壊し	1.3



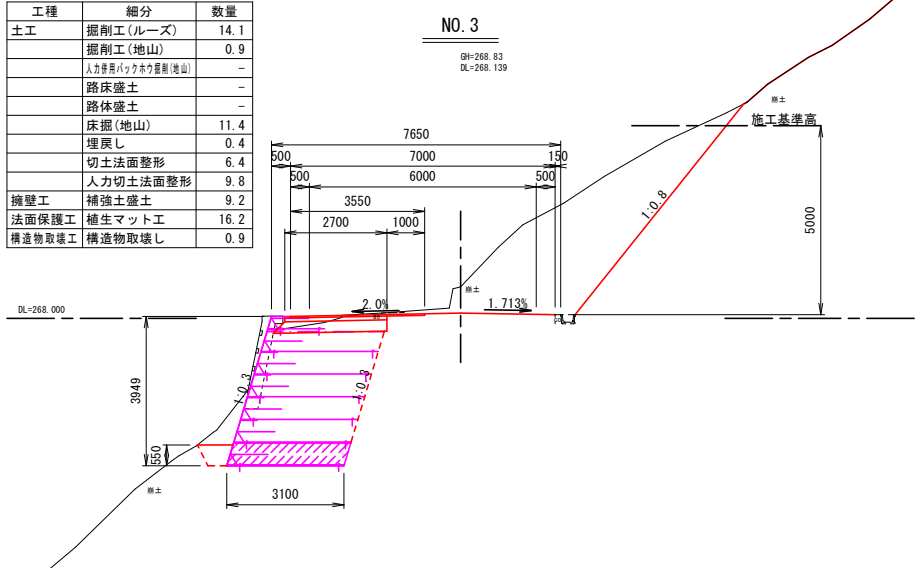
NO. 4+7.00~BC. 4

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	-
	掘削工(地山)	0.2
	人力専用バックホウ掘削(地山)	-
	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	-
	埋戻し	-
	切土法面整形	-
	人力切土法面整形	-
擁壁工	補強土盛土	-
法面保護工	植生マット工	-
構造物取壊工	構造物取壊し	-



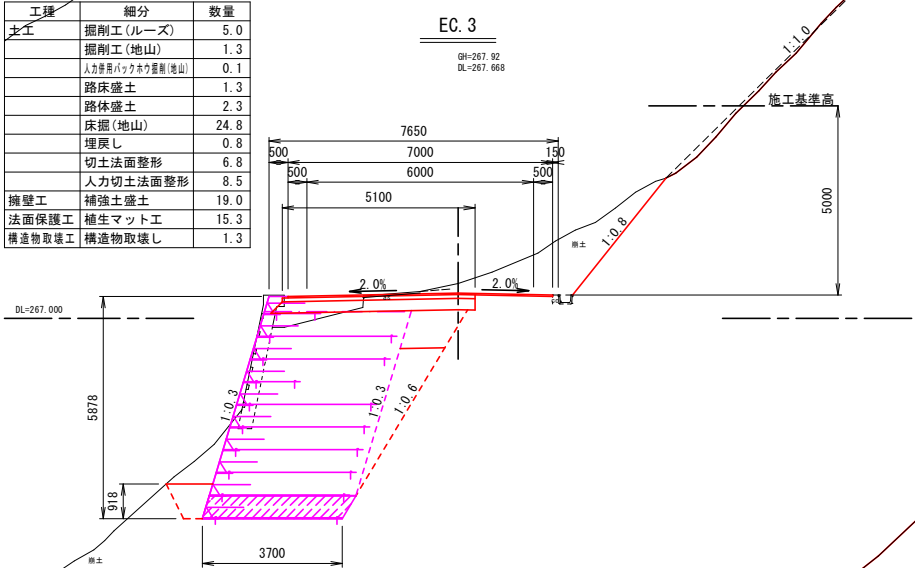
NO. 3

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	14.1
	掘削工(地山)	0.9
	人力専用バックホウ掘削(地山)	-
	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	11.4
	埋戻し	0.4
	切土法面整形	6.4
	人力切土法面整形	9.8
擁壁工	補強土盛土	9.2
法面保護工	植生マット工	16.2
構造物取壊工	構造物取壊し	0.9



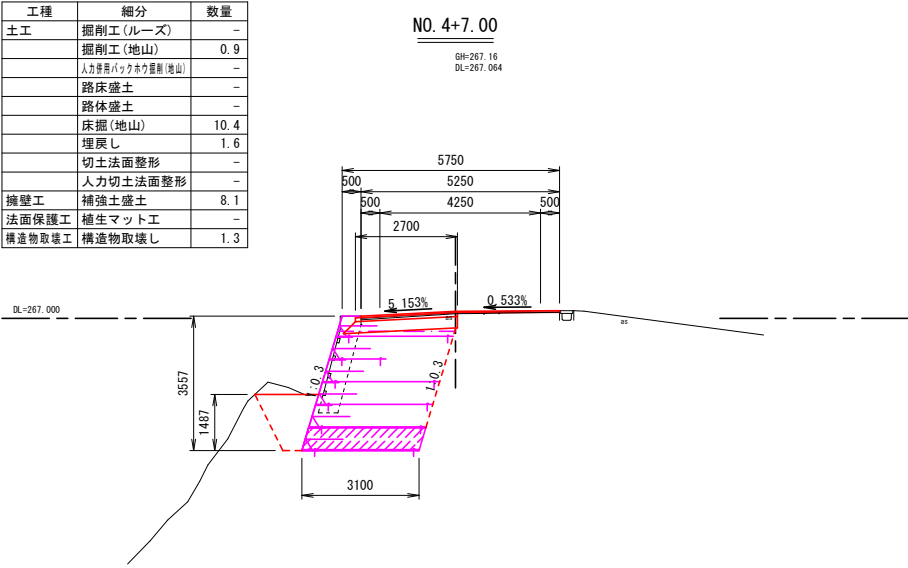
EC. 3

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	5.0
	掘削工(地山)	1.3
	人力専用バックホウ掘削(地山)	0.1
	路床盛土	1.3
	路体盛土	2.3
	床掘(地山)	24.8
	埋戻し	0.8
	切土法面整形	6.8
	人力切土法面整形	8.5
擁壁工	補強土盛土	19.0
法面保護工	植生マット工	15.3
構造物取壊工	構造物取壊し	1.3



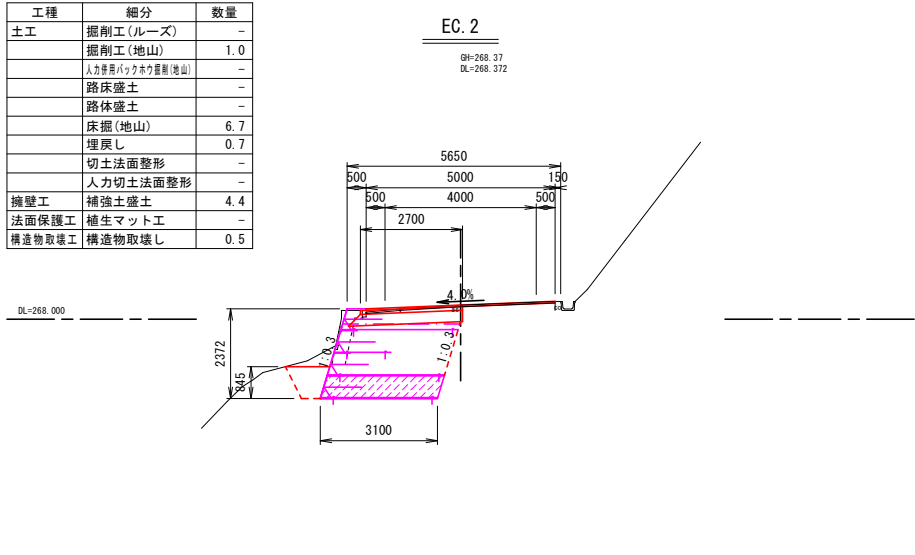
NO. 4+7.00

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	-
	掘削工(地山)	0.9
	人力専用バックホウ掘削(地山)	-
	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	10.4
	埋戻し	1.6
	切土法面整形	-
	人力切土法面整形	-
擁壁工	補強土盛土	8.1
法面保護工	植生マット工	-
構造物取壊工	構造物取壊し	1.3



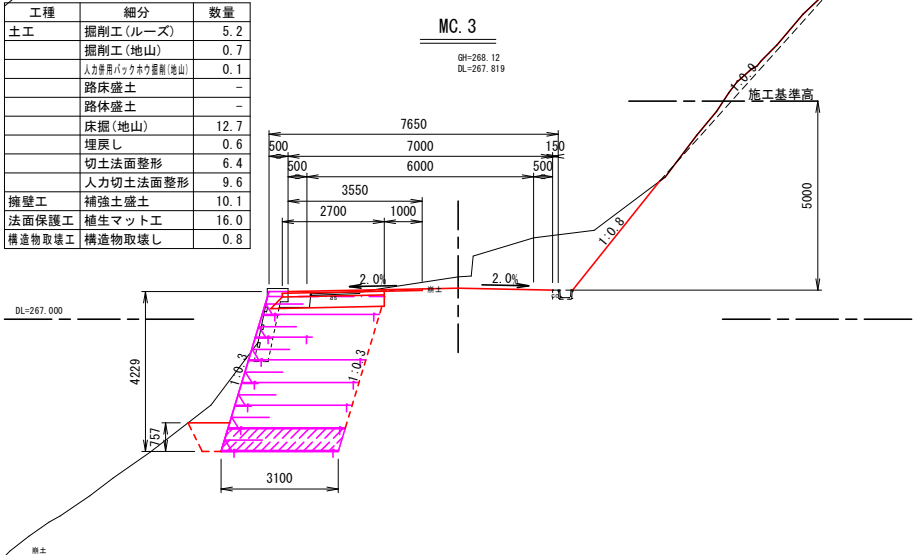
EC. 2

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	-
	掘削工(地山)	1.0
	人力専用バックホウ掘削(地山)	-
	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	6.7
	埋戻し	0.7
	切土法面整形	-
	人力切土法面整形	-
擁壁工	補強土盛土	4.4
法面保護工	植生マット工	-
構造物取壊工	構造物取壊し	0.5



MC. 3

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	5.2
	掘削工(地山)	0.7
	人力専用バックホウ掘削(地山)	0.1
	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	12.7
	埋戻し	0.6
	切土法面整形	6.4
	人力切土法面整形	9.6
擁壁工	補強土盛土	10.1
法面保護工	植生マット工	16.0
構造物取壊工	構造物取壊し	0.8



※注
・EC. 2~No. 3+14.0間は床掘影響範囲(幅2.7m)を全層復旧とした。
・No. 3+14.0~No. 4+2.9間は床掘影響範囲(5.1m)を全層復旧とした。
・No. 4+2.9~No. 4+7.0間は床掘影響範囲(幅2.7m)を全層復旧とした。
・No. 4+7.0~No. 5+3.5間はクラック深6cmを復旧厚設定根拠とした。

※本図の標高は測地成果2011である。

29号箇所				
路線名	林道 サビヤ山線	事業名	林道施設災害 (令和6年災)復旧	事業
林道区分	奥地	級別区分	自動車道 1級	設計速度 20km/h
年度	令和7年度	施行主体	輪島市	
名称	横断図 2葉中 1番			
施行地	石川県輪島市門前町浦上	地内		
縮尺	5/14	審査者	設計者	
1:100	番号			

横断図（ 2 / 2 ）

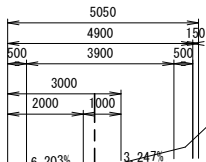
S=1:100

NO. 5+3.50

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	3.2
	掘削工(地山)	0.2
	人力専用バックホウ重機(地山)	1.7
	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	-
	埋戻し	-
	切土法面整形	6.8
	人力切土法面整形	8.6
擁壁工	補強土盛土	-
法面保護工	植生マット工	15.4
構造物取壊工	構造物取壊し	-

NO. 5+3.50

GH=266.11
FH=266.122

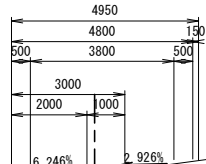


MC. 4

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	0.3
	掘削工(地山)	0.2
	人力専用バックホウ重機(地山)	-
	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	-
	埋戻し	-
	切土法面整形	-
	人力切土法面整形	-
擁壁工	補強土盛土	-
法面保護工	植生マット工	-
構造物取壊工	構造物取壊し	-

MC. 4

GH=266.34
FH=266.358

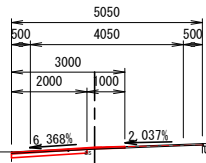


NO. 4+11.60

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	-
	掘削工(地山)	0.2
	人力専用バックホウ重機(地山)	-
	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	-
	埋戻し	-
	切土法面整形	-
	人力切土法面整形	-
擁壁工	補強土盛土	-
法面保護工	植生マット工	-
構造物取壊工	構造物取壊し	-

NO. 4+11.60

GH=266.92
FH=266.932

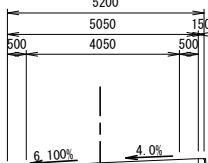


NO. 5+10.90

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	-
	掘削工(地山)	-
	人力専用バックホウ重機(地山)	-
	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	-
	埋戻し	-
	切土法面整形	-
	人力切土法面整形	-
擁壁工	補強土盛土	-
法面保護工	植生マット工	-
構造物取壊工	構造物取壊し	-

NO. 5+10.90

GH=265.52
FH=265.520



※注
・EC. 2～No. 3+14. 0間は床掘影響範囲(幅2.7m)を全層復旧とした。
・No. 3+14. 0～No. 4+2. 9間は床掘影響範囲(5.1m)を全層復旧とした。
・No. 4+2. 9～No. 4+7. 0間は床掘影響範囲(幅2.7m)を全層復旧とした。
・No. 4+7. 0～No. 5+3. 5間はクラック深6cmを復旧厚設定根拠とした。

※本図の標高は測地成果2011である。

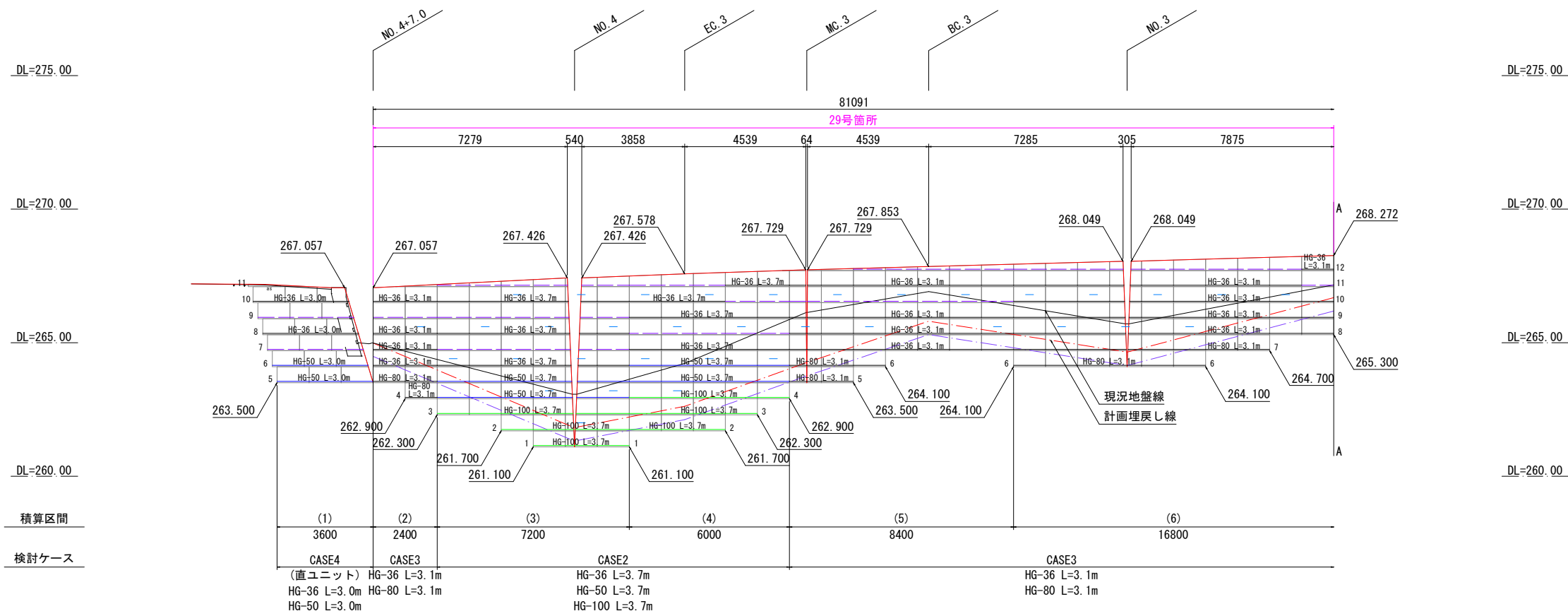
29号箇所

路線名	林道 サビヤ山線	事業名	林道施設災害 (令和6年災)復旧	事業	
林道区分	奥 地	級別区分	自動車道 1級	設計速度	20km/h
年 度	令 和 7 年 度	施行主体	輪 島 市		
名 称	横断図		2 葉 中	2 番	
施行地	石 川 県 輪 島 市 門 前 町 浦 上	地 内			
縮 尺	1:100	図 面	6 / 14	審 査 者	設 計 者

補強土壁工構造図(1/3)

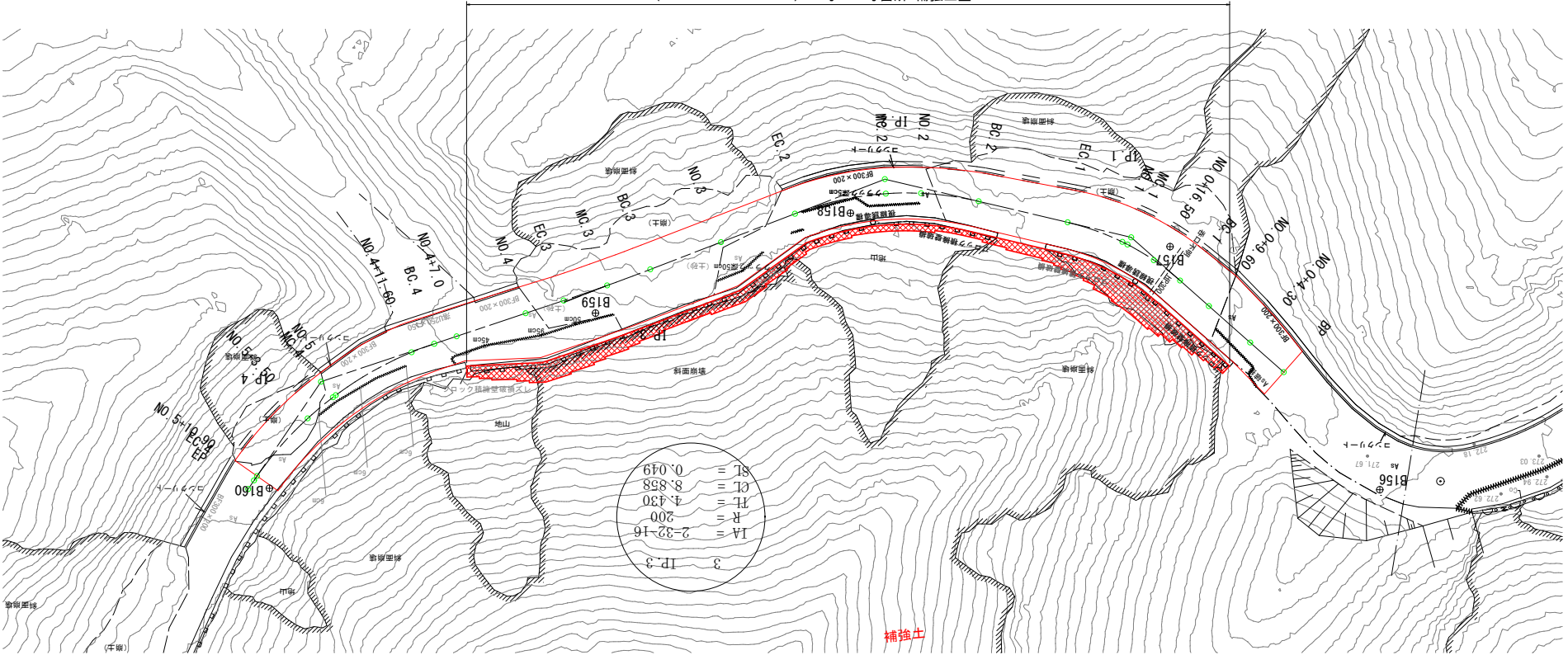
S=1:100

展開図 縮尺 1:100



平面図 縮尺 1:300

(NO. 0+4.30~NO. 4+7.0) 28号~29号箇所 補強土壁工 L=81091



材 料 表						
凡 例	名 称	規格寸法	単位	材 質	寸法・形状	特 記 事 項
	アダム (主補強材)	HG-36	m ²	芯材：アラミド繊維 表面材：高密度ポリエチレン	部材詳細図参照	伸度4.5%
		HG-50	m ²			
		HG-80	m ²			
		HG-100	m ²			
		HG-150	m ²			
	壁面強化材	UC-20	m ²			
	鋼製枠(ユニット)	UC-60P	set		部材詳細図参照	
	水平排水材	R-7×300C	m		W=300	

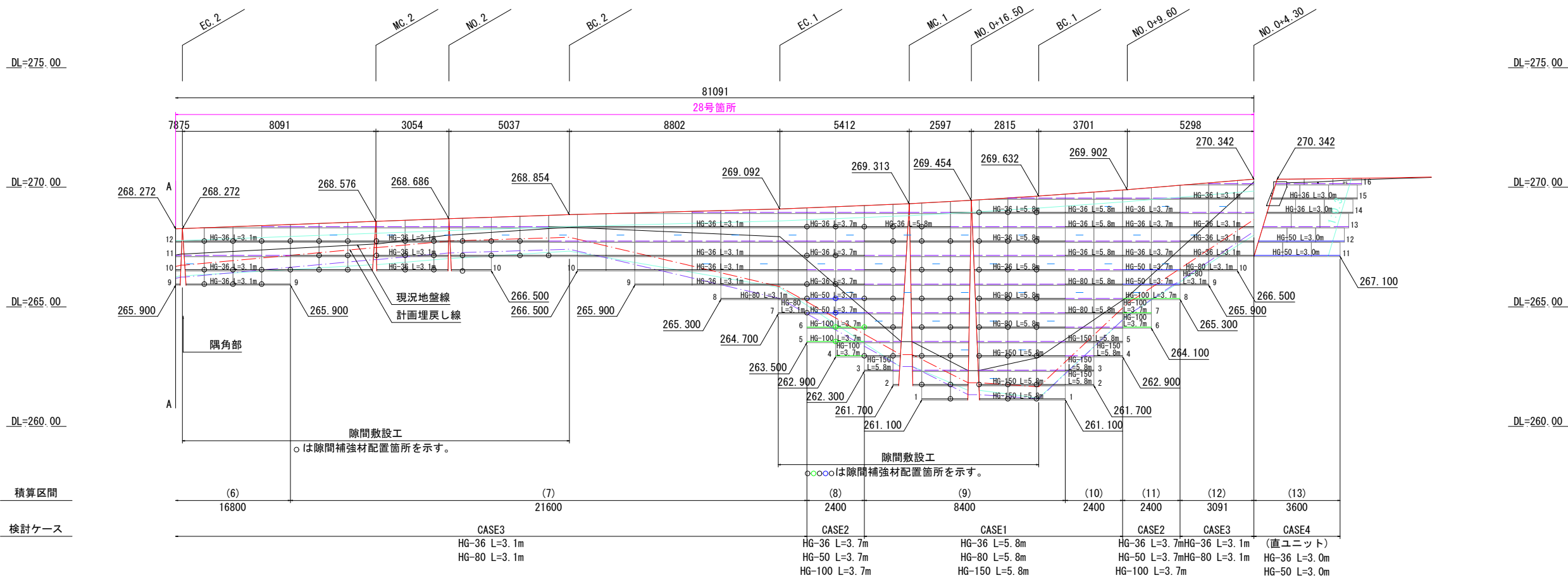


28~29号箇所					
路線名	林道 サビヤ山線	事業名	林道施設災害 (令和6年災)復旧	事業	
林道区分	奥 地	級別区分	自動車道 1級	設計速度	20km/h
年 度	令 和 7 年 度	施行主体	輪 島 市		
名 称	補強土壁工構造図 3葉中 1番				
施行地	石 川 県 輪 島 市 門 前 町 浦 上	地 内			
縮 尺	図 面 7 1:100 番号 14	審 査 者		設 計 者	

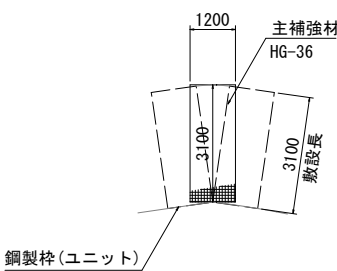
補強土壁工構造図(2/3)

S=1:100

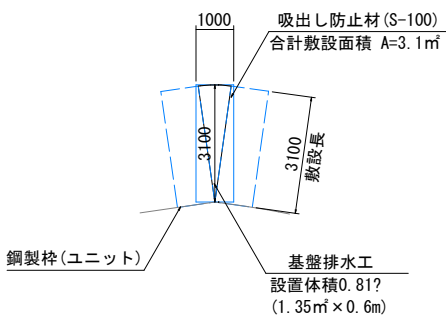
展開図



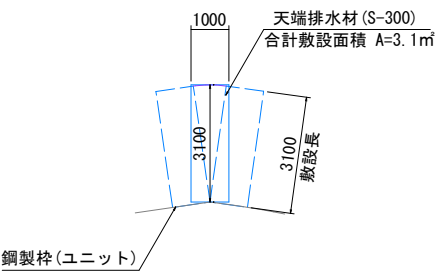
隅角部 敷設平面図



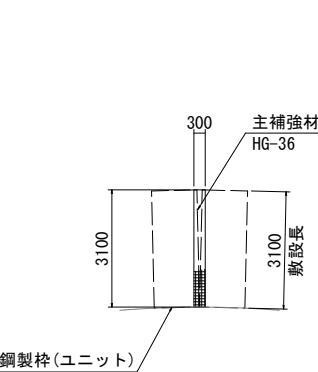
隅角部 吸出し防止材敷設平面図 (基盤排水工用)



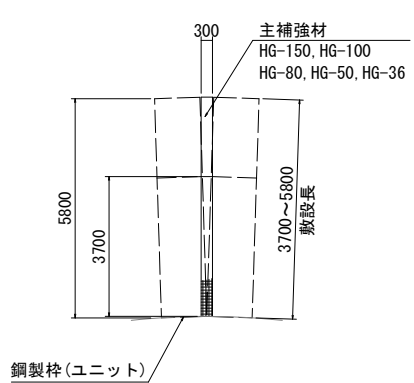
隅角部 天端排水材敷設平面図



隙間敷設工部 敷設平面図 BC.2~EC.2



隙間敷設工部 敷設平面図 BC.1~EC.1



材 料 表					
凡 例	名 称	規格寸法	単位	材 質	寸法・形状
	主補強材	HG-36	m ²	芯材：アラミド繊維 表面材：高密度ポリエチレン	部材詳細図参照
		HG-50	m ²		
		HG-80	m ²		
		HG-100	m ²		
		HG-150	m ²		
	壁面強化材	UC-20	m ²		
	鋼製杵(ユニット)	UC-60P	set		部材詳細図参照
	水平排水材	R-7×300C	m		W=300

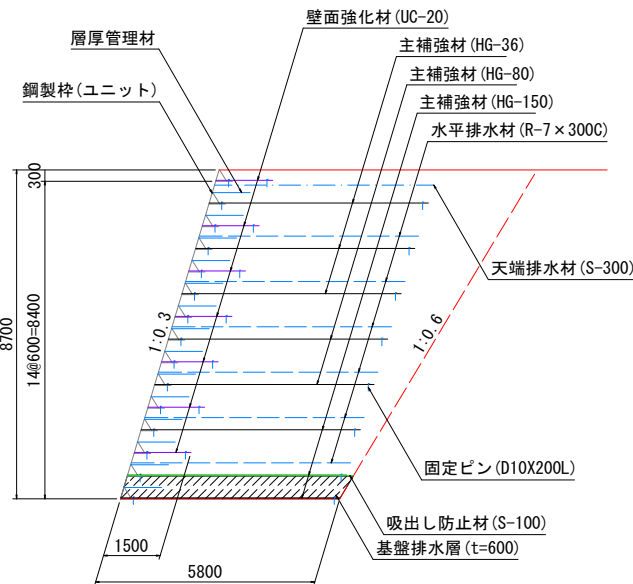
28~29号箇所					
路線名	林道 サビヤ山線	事業名	林道施設災害 (令和6年度)復旧	事業	
林道区分	奥 地	級別区分	自動車道 1級	設計速度	20km/h
年 度	令 和 7 年 度	施行主体	輪 島 市		
名 称	補強土壁工構造図 3葉中 2番				
施行地	石 川 県 輪 島 市 門 前 町 浦 上	地 内			
縮 尺	1:100	図 面	8 / 14	審 査 者	設 計 者

補強土壁工構造図(3/3)

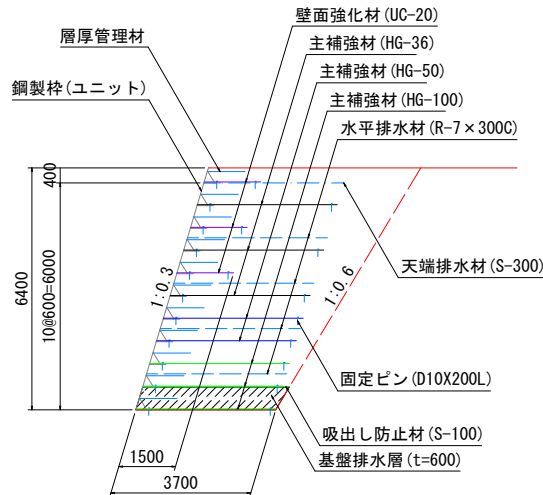
S=1:100

標準断面図

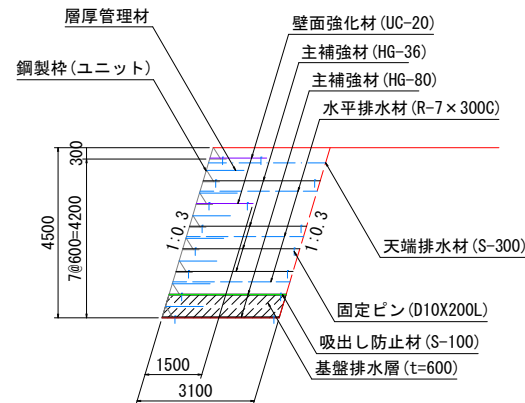
CASE1



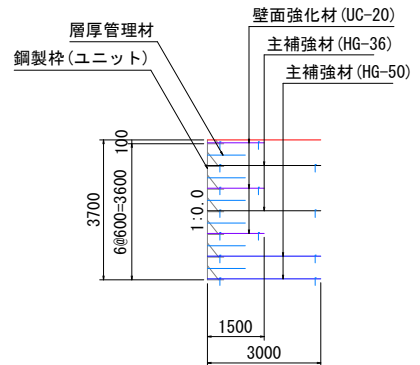
CASE2



CASE3



CASE4



設計条件

盛土材定数	$\gamma=19.0\text{kN/m}^3$ $\phi=30^\circ$ $C=0.0\text{kN/m}^2$	
載荷重	活荷重 $q=10\text{kN/m}^2$	
設計水平震度	レベル1 II種地盤 B地域	
円弧すべりに対する安全率	常時	地震時 ($H \geq 8.0\text{m}$)
	$F_s \geq 1.20$	$F_s \geq 1.00$
引き抜きに対する安全率	$F_s \geq 2.00$	$F_s \geq 1.20$
転倒に対しての安全率	$e \leq L/6$	$e \leq L/3$
滑動に対しての安全率	$F_s \geq 1.50$	$F_s \geq 1.20$
支持に対しての安全率	$F_s \geq 3.00$	$F_s \geq 2.00$

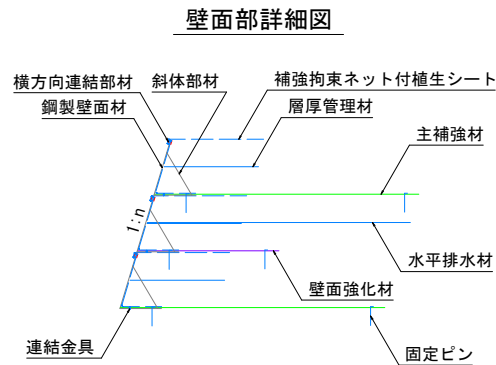
必要地耐力

タイプ	検討高	単位	常時	地震時	摘要
CASE1	H=8.7m	kN/m^2	179.871	172.325	盛土直下
CASE2	H=6.4m	kN/m^2	135.498	-	盛土直下
CASE3	H=4.5m	kN/m^2	97.169	-	盛土直下
CASE4	H=3.7m	kN/m^2	76.739	-	盛土直下

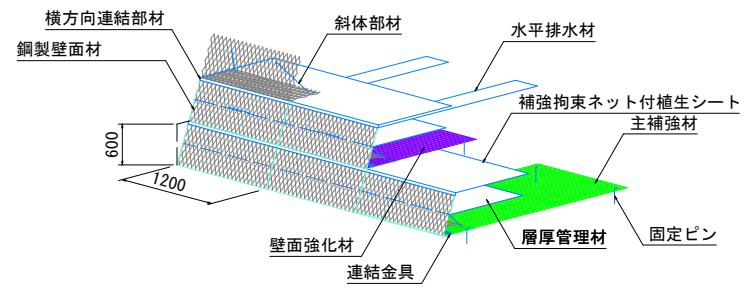
特記事項

補強土壁工	面状補強材（ジオテキスタイル）を層状に敷設し、補強材の引張力と土との摩擦抵抗力によってせん断強さを補強し、安定した盛土構造物を構築する			
盛土材料	土質条件	単位体積重量 $\gamma=19.0\text{ kN/m}^3$	粘着力 $c=0.0\text{ kN/m}^2$	せん断抵抗角 $\phi=30.0^\circ$
	・ 施工前に盛土材の土質試験を実施し、設計定数を確認する ・ 発注機関の定める規定値に従い、締固め管理を行う ・ 盛土材料は適切な含水比とする ・ 設計段階では現地発生土を流用しているが、土質条件に沿わない場合は発注者と協議のうえ対応を検討すること			
基礎地盤	・ 良好な地盤又は適切な処置が施された地盤とする ・ 床掘り完了後に所定の支持力を満足するか確認する			
排水工	・ 適切な排水処理を施す ・ 予期せぬ湧水が確認された場合は速やかに排水対策を行う ・ 施工中は仮排水工を設けるなどして、盛土本体や壁面部へ水を導かないよう排水処理を行う ・ 補強土壁の底盤は排水対策を施す			
	・ 鋼製壁面材は、盛土材を拘束し所定の締固め度が得られる十分な剛性（断面係数：0.8cm ³ /m以上）を有すること ・ 壁面材の座屈や回転等を防止するため、斜体部材、横方向部材および回転防止部材を用いた構造とする			
壁面材	・ 鋼製壁面材は、盛土材を拘束し所定の締固め度が得られる十分な剛性（断面係数：0.8cm ³ /m以上）を有すること ・ 壁面材の座屈や回転等を防止するため、斜体部材、横方向部材および回転防止部材を用いた構造とする			
補強材	・ 主補強材は（財）土木研究センターの建設技術審査証明報告書を有する製品とする ・ 主補強材は、4.5%程度の伸度で所定の引張強さを発現する面状の材料とする ・ 礫材等による主補強材の耐衝撃性は、90%以上の強度保持率を有する材料とする ・ 隣接する主補強材の敷設は、突合せを基本とする（ラップする必要は無い） ・ 曲線部や折れ部において、隣接する主補強材間の隙間が10cm程度以上となった場合は、同質・同等の材料にて隙間を埋める			
	・ 主補強材は（財）土木研究センターの建設技術審査証明報告書を有する製品とする ・ 主補強材は、4.5%程度の伸度で所定の引張強さを発現する面状の材料とする ・ 礫材等による主補強材の耐衝撃性は、90%以上の強度保持率を有する材料とする ・ 隣接する主補強材の敷設は、突合せを基本とする（ラップする必要は無い） ・ 曲線部や折れ部において、隣接する主補強材間の隙間が10cm程度以上となった場合は、同質・同等の材料にて隙間を埋める			
安全管理	・ 労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに遵守する			

概念図



のり面詳細図



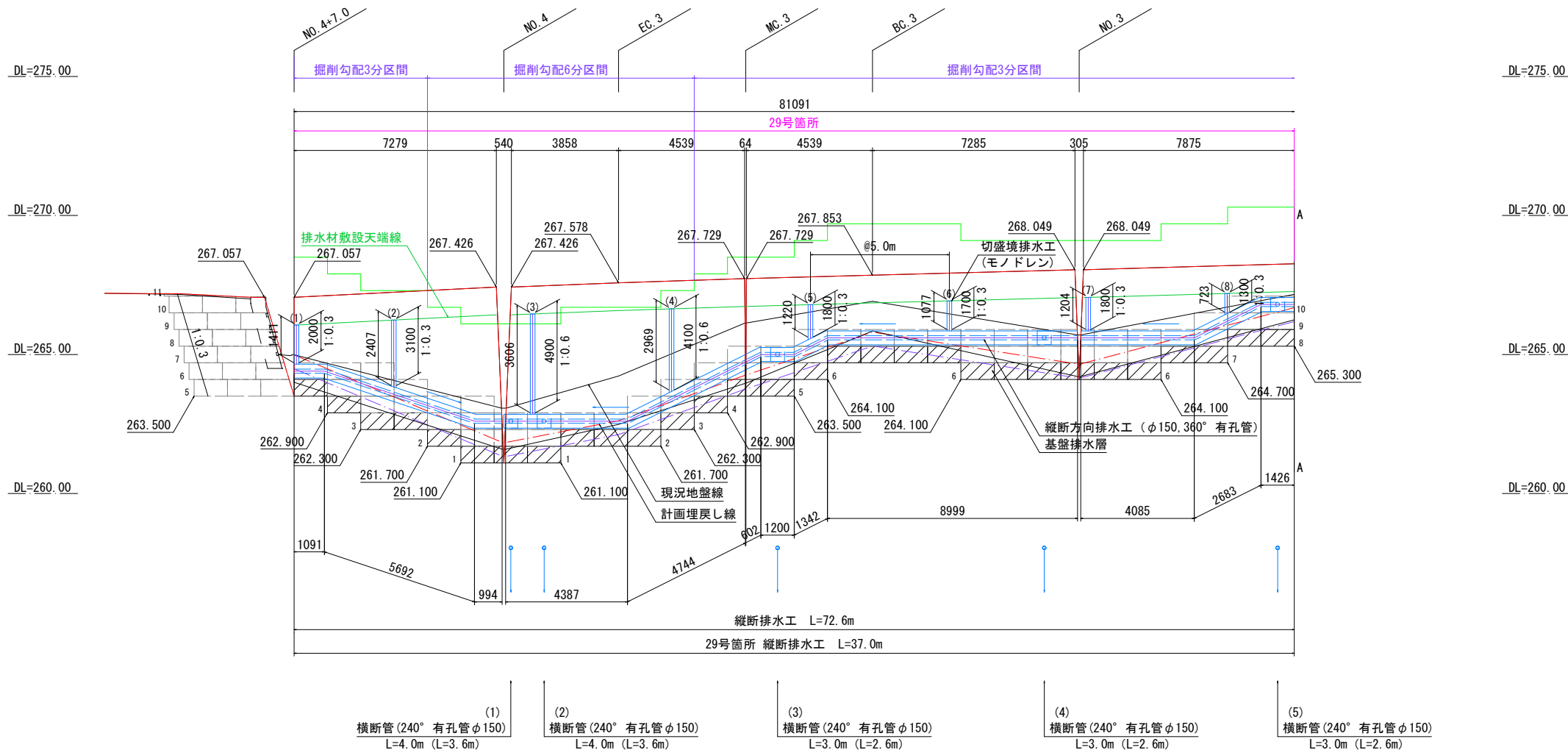
28～29号箇所

路線名	林道サビヤ山線	事業名	林道施設災害(令和6年災)復旧	事業
林道区分	奥地	級別区分	自動車道1級	設計速度20km/h
年度	令和7年度	施行主体	輪島市	
名称	補強土壁工構造図 3葉中 3番			
施行地	石川県輪島市門前町浦上	地内		
縮尺	1:100	図面番号	9/14	審査者
				設計者

補強土壁工排水計画図(1/3)

S=1:100

正面図



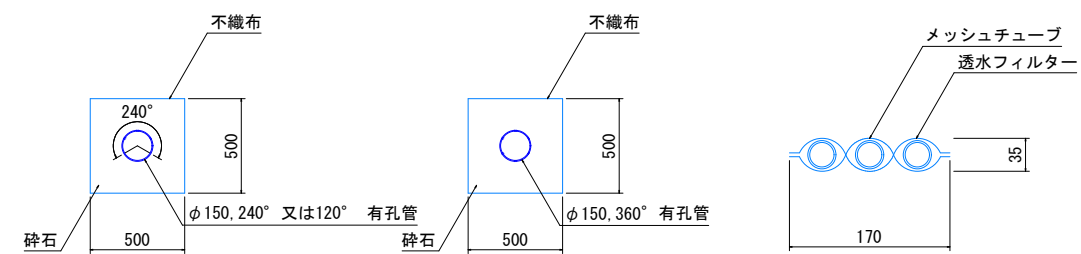
28～29号箇所					
路線名	林道 サビヤ山線	事業名	林道施設災害 (令和6年災)復旧	事業	
林道区分	奥地	級別区分	自動車道 1級	設計速度	20km/h
年度	令和7年度		施行主体	輪島市	
名称	補強土壁工排水計画図			3葉中 1番	
施行地	石川県輪島市門前町浦上 地内				
縮尺	図面	10 番号	審査者	設計者	
1:100		14			

S=1 : 100



<p>(6)</p> <p>横断管 (240° 有孔管 φ150)</p> <p>L=3.0m (L=2.6m)</p>	<p>(7)</p> <p>横断管 (240° 有孔管 φ150)</p> <p>L=5.9m (L=5.5m)</p>	<p>(8)</p> <p>横断管 (240° 有孔管 φ150)</p> <p>L=5.9m (L=5.5m)</p>
--	--	--

Technical cross-section diagram of a retaining wall structure. The diagram shows a wall with a top horizontal surface sloping at 4.0% and a vertical height of 1000. The wall face has a slope of 1:0.3, and the backfill has a slope of 1:0.6. A drainage system is shown, including a base drainage layer (基盤排水層) labeled (C-40), a gravel layer (砕石), and a cross-section pipe (横断管). A vertical drainage pipe (縦断方向排水工) with a diameter of $\phi 150$ and a 360° perforation is shown. A horizontal drainage pipe (横断方向排水工) with a diameter of $\phi 150$ and a 240° perforation is shown. A cut-off drainage pipe (切盛境排水工) labeled (モノドレン) is also indicated. A dimension of 600 (500) is shown for the gravel layer. The diagram is labeled with '断面' (cross-section) and '縦断' (vertical section).

(モノドレンM-3)



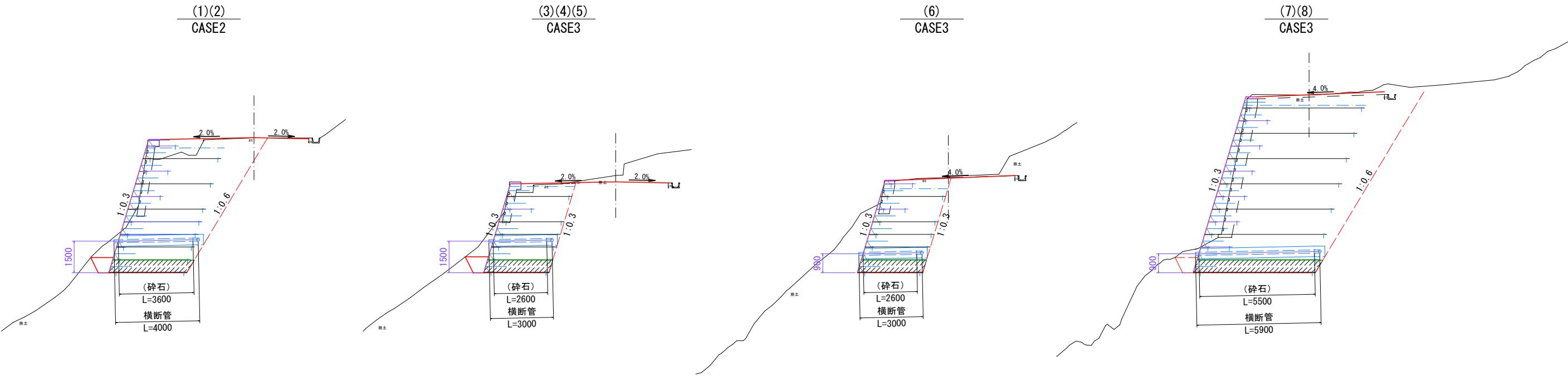
工種	種別	規格寸法	単位
切盛境排水	パイプ状排水材	t35×W170mm	m
縦断・横断 方向排水	有孔管（縦断管）	φ=150 360° 有孔	m
	有孔管（横断管）	φ=150 240° 又は120° 有孔	m
	不織布		m ²
	碎石		m ³

- 1)  は、縦断管勾配方向を、
 は、横断管排出位置を示す
- 2) 補強土壁の最深部には、横断方向排水工を2箇所設置する
- 3) 切盛境には排水材（モノドレン）を5m間隔で設置する
- 4) 切盛境排水工の設置間隔は 5m とするが、地山の湧水状況に応じて決定する
- 5) 補強土壁天端には盛土内への水の浸入を防ぐためのシールコンクリートや排水溝を設ける

路線名		林道 サビヤ山線		事業名		林道施設改善 (令和6年)沢田		事業	
林道区分		奥地		級別区分		自動車道 1級		設計速度 20km/h	
年度		令和7年度		施行主体		輪		島市	
名称		補強土壁工排水計画図						3葉中 2番	
施行地		石川県輪島市門前町浦上							地内
縮尺		図面番		11 / 14		審査者		設計者	
1:100									

補強土壁工排水計画図(3/3)

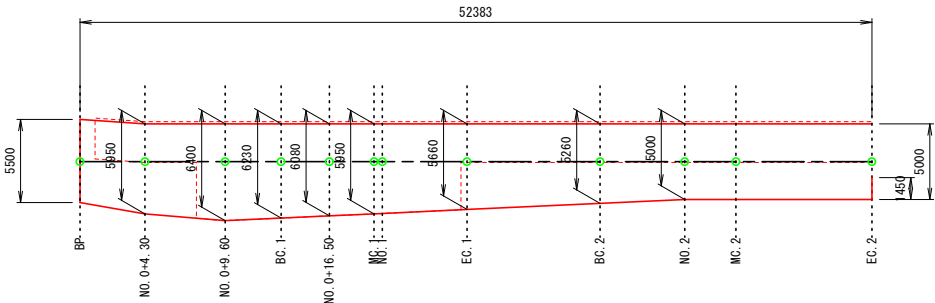
S=1:100



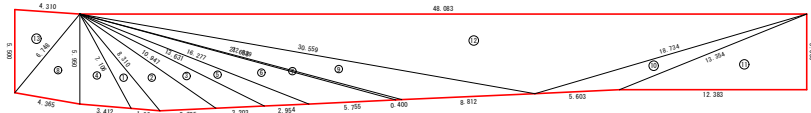
28～29号箇所					
路線名	林道 サビヤ山線	事業名	林道施設災害 (令和6年災)復旧	事業	
林道区分	奥地	級別区分	自動車道 1級	設計速度	20km/h
年度	令和7年度		施行主体	輪島市	
名称	補強土壁工排水計画図			3葉中	3番
施行地	石川県輪島市門前町浦上 地内				
縮尺	図面	12 / 番号	審査者	設計者	
1:100		14			

舗装工展開図(1/1)

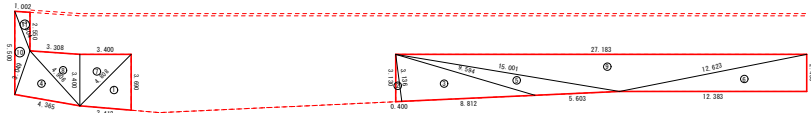
表層工
28号箇所



表層工



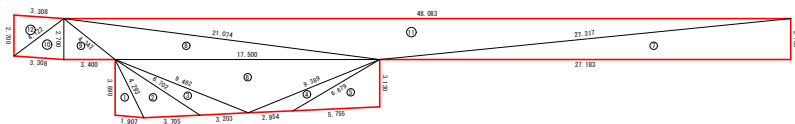
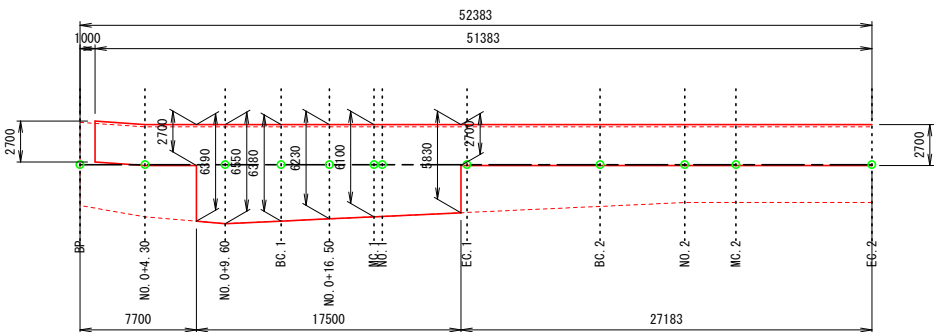
不陸整正



符号	辺A(下底)	辺B(高さ)	辺C(上底)	角度	ヘロン面積
1	8.310	7.106	1.907	-	5.6557582
2	10.947	8.310	3.705	-	12.2952322
3	13.631	10.947	3.203	-	10.6487273
4	7.106	5.950	3.412	-	10.1139694
5	16.277	13.631	2.954	-	9.7716519
6	21.658	16.277	5.755	-	19.1304182
7	22.039	21.658	0.400	-	1.3306865
8	6.748	4.365	5.950	-	12.7929591
9	30.559	22.039	8.812	-	29.1637227
10	13.354	18.734	5.603	-	12.3615164
11	13.354	12.383	5.000	-	30.9574999
12	48.083	30.559	18.734	-	126.4745061
13	6.748	4.310	5.500	-	11.8239166
合計面積 (m2)					292.5205645

符号	辺A(下底)	辺B(高さ)	辺C(上底)	角度	ヘロン面積
1	4.808	3.412	3.690	-	6.2723441
2	3.136	3.130	0.400	-	0.6252516
3	9.594	3.136	8.812	-	13.7701282
4	4.906	3.049	4.365	-	6.5678217
5	15.001	9.594	5.603	-	8.7950061
6	12.623	12.383	2.450	-	15.1691750
7	4.808	3.400	3.400	-	5.7799999
8	3.308	4.906	3.400	-	5.6099563
9	27.183	15.001	12.623	-	33.2817761
10	5.500	3.049	2.804	-	2.7498820
11	2.804	2.550	1.002	-	1.2744477
合計面積 (m2)					99.8957887

上層路盤工・下層路盤工
28号箇所



符号	辺A(下底)	辺B(高さ)	辺C(上底)	角度	ヘロン面積
1	4.293	3.690	1.907	-	3.5060870
2	6.702	4.293	3.705	-	7.2849682
3	9.482	6.702	3.203	-	6.3092694
4	6.679	9.389	2.954	-	4.6418620
5	6.679	5.755	3.130	-	8.9966349
6	9.482	9.389	17.500	-	30.8935825
7	27.317	27.183	2.700	-	36.6970499
8	21.074	4.342	17.500	-	23.6264933
9	4.342	2.700	3.400	-	4.5899999
10	4.122	3.308	2.700	-	4.4549930
11	48.083	21.074	27.317	-	64.9710989
12	4.122	3.308	2.700	-	4.4549930
合計面積 (m2)					200.4270320

28号箇所					
路線名	林道 サビヤ山線	事業名	林道施設災害 (令和6年度)復旧	事業	
林道区分	奥地	級別区分	自動車道 1級	設計速度	20km/h
年度	令和7年度	施行主体	輪島市		
名称	舗装工展開図 1葉中 1番				
施行地	石川県輪島市門前町浦上	地内			
縮尺	1:250	図面番号	13/14	審査者	設計者

